

◎拠点整備の経費

深沢地域整備事業

鎌倉深沢地域整備課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【事業の内容】

(1) 深沢地域整備事業

- ・ 深沢地区事業化推進検討業務委託により、深沢地区周辺の将来道路網、交通処理計画等の検討を行った。
- ・ 深沢地区事業促進業務委託により、「深沢地区事業推進協議会」及び「深沢地区事業推進専門委員会」において土地利用についての検討を行った。
- ・ 土木積算総合システムの機器を賃借し、保守業務を委託により行った。
- ・ 広域交通検討基礎調査業務に係る負担金を「湘南地区整備連絡協議会」へ支出し、神奈川県、藤沢市、鎌倉市の三者で「新駅設置及び拠点整備の効果」、「交通インフラ整備の方向性」等について検討を行った。

(2) 深沢地域整備事務

- ・ 既に取得した用地の草刈等の管理業務を委託により行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深沢地域国鉄跡地周辺の整備(5-2-1-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,006	17,362	17,238		124
主な支出内訳				
・ 深沢地域整備事業				
深沢地区事業推進専門委員会等報償費				360
土木積算総合システム保守業務委託料				322
深沢地区事業化推進検討業務委託料				4,715
深沢地区事業促進業務委託料				4,998
土木積算総合システム機器賃借料				402
広域交通検討基礎調査負担金				4,200
・ 深沢地域整備事務				
深沢まちづくりニュース用消耗品費				0
深沢地域取得済用地管理業務委託料				2,141
主な特定財源				
・ 国県支出金				4,638

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)「土地区画整理事業」等の都市計画決定に向けた具体的や土地利用計画の策定 (2)「村岡・深沢地区全体整備構想(案)」の具体化に向けた検討 (3)鎌倉青果地方卸売市場の将来展望の明確化 (4)事業スケジュールの再構築 (5)C用地の暫定利用
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(1)「深沢地区事業推進協議会」を19年度に引き続き開催し、面整備ゾーンの「土地利用のあり方」「まちづくりの方向性」を整理した『深沢地域の新しいまちづくりビジョン』をまとめた。 (2)「深沢地区事業推進専門委員会」を19年度に引き続き開催し、事業化の視点からの検討を経て、面整備ゾーンの具体的土地利用計画を4案作成した。 (3)「村岡・深沢地区全体整備構想(案)」をもとに、神奈川県、藤沢市、鎌倉市等で構成する「湘南地区整備連絡協議会」において、「新駅乗降客数」や「交通インフラ整備の方向性」、「新駅設置及び拠点整備の効果」について調査検討を行った。 (4)鎌倉青果地方卸売市場の将来展望を明確化するために、鎌倉青果商業協同組合及び鎌倉青果株式会社にてヒアリング等を行うとともに、都市計画変更手続きについての課題整理を行った。 (5)都市計画決定を平成23年に行うことで、藤沢市と調整し、更にこのスケジュールを面整備内権利者に説明し、理解を得た。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)都市計画決定に向けた土地利用計画(案)の絞込み (2)都市計画道路等の整備の具体的あり方の整理 (3)土地区画整理事業の施行主体や事業スキームの検討 (4)鎌倉青果地方卸売市場としての将来展望に向けた意思決定 (5)C用地の暫定利用
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)民間事業者へのヒアリング等を実施した上での具体的土地利用計画の決定 (2)土地利用計画についてJR東日本や西側権利者との合意 (3)施行主体及び事業スキームの決定 (4)施行主体や事業スキームの決定 (5)事業化までの間のB用地、C用地の有効活用

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	<p>・本事業は地域はもちろんのこと、市にとっても重要なプロジェクトである。 ・今後は、「深沢地域の新しいまちづくりビジョン」を基に、「深沢地区事業推進専門委員会」による事業化の視点での土地利用の検討を進めて、平成23年度の都市計画決定に必要な土地利用計画(案)を本年度中に策定する。 ・併せて、「村岡・深沢地区拠点づくり検討調査」を踏まえた「新駅設置の効果」や「交通インフラ整備の方向性」等の計画深度化を図る。</p>				
鎌倉深沢地域整備課長 山内 廣行					

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	<p>平成23年度の都市計画決定に向け、本年中に土地利用計画(案)を策定し、本事業区域内の大規模権利者であるJR東日本や西側権利者の土地利用計画(案)に対する合意形成の推進が必要である。</p>				
担当部名	拠点整備部	部長名	瀧澤 由人		